

東北大学良陵同窓会

春季総会の「案内」

新緑の候、会員各位には、益々ご清栄のことと大慶に存じ上げます。

さて、東北大学良陵同窓会関東連合会春季総会を下記により開催したいと存じますので、なにとぞ万障お繰り合わせのうえ、ご家族ご同伴にて、ご出席を賜りたく、ご案内申し上げます。

今回の総会では、特別講演を高橋俊雄（昭和三十四年卒、佐々木研究所付属杏雲堂病院院長）が担当いたします。テーマは最近特に問題になっている「教室・病院の再建奮戦記」（講演要旨後述）と題して本音で話させて頂きます。

アフターディナーコンサートは、当会のために特別に編成された桐弦楽四重奏団をお迎えして、優雅なアンサンブルで数々の名曲の演奏をお楽しみいただく予定になっております。（後述）

薫風の季節にふさわしい充実した総会になるものと思ひますので、奥様はじめご家族もお誘い頂き、ご出席をくださいますよう、皆々様のお越しを心からお待ち申し上げます。

東北大学良陵同窓会

関東連合会会長東京支部長

高橋 俊雄

（会費納入のお願い 本総会会費及び年会費の

ご納入を四ページ記載要領にてお願いいたします。）

一、期日 二、場所

記

平成十八年六月三日（土）

アークヒルズクラブ

港区赤坂一丁目十二番三十二

アーク森ビルイーストウイング三七階

電話〇三―五五六二―八二〇―

東京メトロ・南北線「六本木一丁目」

（3番出口）銀座線「溜池山王」（13番

出口）下車（なお、詳細は本紙三頁掲

載の地図・案内説明をご覧下さい）

午後四時より

午後四時三十分開会

開会の辞

支部長挨拶

経過報告

各役員報告

秋季総会担当報告

閉会の辞

「教室・病院の再建奮戦記」

高橋俊雄先生（昭和三四年卒）

午後六時開会

アフターディナーコンサート

桐弦楽四重奏団

会員 一〇〇〇〇円

ご家族 八〇〇〇円（一人）

同封の振替用紙に会費と共に

五月二十五日までにお申込み下さい。

七、会費 八、出席申込み

ての日本外科学会、日本癌学会を主宰することが出来た。

平成十年、思ってもいない東大系の東京都立駒込病院長に迎えられた。全国外科系教授の中から適任者を選んだとのことであつた。しかし、駒込病院は石原知事の都立病院改革の嵐の中で、都立病院中最大の赤字病院として病院存亡の危機であつた。危機意識の喚起、在院日数短縮、救急医療の実施、地域医師会との医療連携の推進等を先頭に立って行った。その結果、毎年、前年度に比して約七億円の増収となり、医療評価機能合格、がん拠点病院指定を受け駒込病院は東京都がん・感染症センターとして生き残りが決定した。

平成十五年、佐々木研究所付属杏雲堂病院に迎えられた。杏雲堂病院は一八八一年に創立され、二人の文化勲章受賞者を輩出した歴史と伝統ある老舗病院である。しかし、病床稼働率はなんと六〇％台、放任主義、沈滞ムード、永年赤字続きである。都心に今どきこのような病院があるのも

驚きだが、これを再建するのは容易ではない。着任早々皆に根治手術を宣言し、ヒアリング、近隣大学との医療連携、自らは月々金毎日午後五時から七時の夜間診療、総合案内コンシエルゼ等を、老骨に鞭を打って行っている。その甲斐あつてか、やる気のない医師数名は自主退職し、病床稼働率は約九〇％となり、平成十七年度は約四十年ぶりに黒字となつた。

高橋俊雄先生略歴
昭和十年二月 福島県二本松市生
昭和三十四年三月 東北大学医学部卒業
昭和三十五年四月 東北大学第一外科入局
昭和四十二年七月 米國ミシガン癌研究所留学
昭和四十三年九月 京都府立医科大学助手 (第一外科)
昭和五十年五月 京都府立医科大学助教授 (第一外科)
昭和五十一年五月 秋田大学医学部教授 (第一外科)
昭和五十九年九月 京都府立医科大学教授 (第一外科)
平成十一年四月 東京都立駒込病院院長

平成十五年四月 佐々木研究所付属杏雲堂病院院長
学会会長 第九十七回日本外科学会会長、第五十六回日本癌学会会長、第四回日本ESの学会会長、第十七回日本リンパ学会会長など
平成十七年より日本外科学会名誉会長
専門―消化器外科とくに胃癌、大腸癌、癌化学療法、手術件数六八〇〇例
受賞―平成二年 高松宮妃癌研究基金学術賞受賞 平成一三年 中山恒明賞受賞

平成十五年四月 佐々木研究所付属杏雲堂病院院長
学会会長 第九十七回日本外科学会会長、第五十六回日本癌学会会長、第四回日本ESの学会会長、第十七回日本リンパ学会会長など
平成十七年より日本外科学会名誉会長
専門―消化器外科とくに胃癌、大腸癌、癌化学療法、手術件数六八〇〇例
受賞―平成二年 高松宮妃癌研究基金学術賞受賞 平成一三年 中山恒明賞受賞



春季総会会場・アークヒルズクラブへの地図(右)ご入館に際しては、アークビル一階受付にお立ち寄りください。クラブのスタッフがエレベーターホールに案内してくれます。なお、駐車場(地下)もあります。

アフターディナーコンサート

今回は海外・国内で活躍している女流音楽家による「桐弦楽四重奏団」の演奏をお楽しみいただきます。第一ヴァイオリン掃部彰子、第二ヴァイオリン佐藤由紀、ヴィオラ青木紀子、チェロ渋谷陽子のメンバー全員が桐朋音楽大学の出身でこの日のために今仲間が集まり特別に編成されました。他では聴けない弦楽四重奏団です。
主な演奏曲目 モーツァルト生誕二百五十周年を記念して*アイネクライネ・ナハトムジーク*ディベルティメントK136を演奏。次いで*G線上のアリア(バッハ)*愛の歎び(クライスラー)*その他

**東北大学記念講演会
全学同窓会
関東支部第十九回総会開催**

表記の同窓会総会が、去る平成十七年十月二十四日月曜日午後六時より神田学士会館で開催された。

総会は神津康雄関東支部会長、西沢潤一東北大学研究教育振興財団理事長、吉本高志大学総長の、二年後の二〇〇七年（平成十九年）に迎える大学創立百周年記念事業への寄付の要請を含めた挨拶の後、昭和三十年経済学部卒の放送ジャーナリスト馬場康一先生の「高齢者社会における定年後の生き方」と題して「高齢者は終生現役のつもりで全てに好奇心を持って、孫や家族のことは考えるな、若者と争うフアイトを持って、若者よりオシヤレになれ、自分の趣味だけに埋没することなく外に出てチームをつくれ、そのチームで地域の新しい力になれ、老人は過激になれ」等々の老人の生き方、長生きの秘訣について、興味あ

る記念講演があった。

そのあと、懇親会に席を移し、十学部卒業生同志の交流を深め、午後九時に盛会裏に閉会した。今回の出席者は総計百三十七名。医学部からは神津（昭一九）、浦本（一九）、永井（一九）、山形（一九）、信田（一九）、近藤（三三）、高橋（三四）、荒井（三六）、林（四一）、押田（四二）の諸先生であった。（信田重光 記）

若手会開催

若手会は平成十八年二月二十五日、飯田橋、北海道（店名）で開催された。平成十六年卒の真の若手から、昭和三十四年卒の自称若手まで四十名が参加した。会費六千円で、食べ放題、飲み放題、言い放題と日頃のストレスを解消し大いにもり上がった。母校を離れ中央で孤軍奮闘活躍している若手の意気軒昂さは、頼もしい限りであった。今年、関東良陵同窓会員の中から、新たに大学教授に就任した者（いずれも首都圏大学で頑張る教授になった）は四名居り、

平成18年度関東良陵同窓会総会・役員会日程

* 秋季総会
日時 平成18年10月29日(日)
場所 水戸

* 役員会 8月31日(木)
12月9日(木) アークヒルズ

東北大学
関東良陵同窓会ホームページ
URL
<http://www.kyoundo.jp/gonryo/>

関東良陵同窓会として、大変誇らしいこととして皆で祝杯をあげた。（文責・関東良陵会会長 高橋俊雄）



写真は意気軒昂、若手会の皆さん！

**秋季総会（平成十七年秋）
盛況**

東北大学、良陵同窓会関東連合会秋季総会は、平成十七年十月十六日午前十一時から、横浜市の中華街にあるローズホテルで開催された。東京、神奈川、千葉、茨城、群馬、山梨などから四十名の参加があった。当番の神奈川支部長の永井一成先生、関東連合会会長の高橋俊雄先生、前会長の神津康雄先生の挨拶から始まり、聖路加病院元院長、亀田総合病院前メデイカルデレクター牧野永城先生（昭二三卒）の講演「診療管理上の試み」が行われ、充実した実りの多い会であった。

*** 会費納入のお願い**
今年度会費三千円を同封の振替用紙にてご納入ください。総会会費も同様にあります。

**東北大学良陵同窓会
関東連合会東京支部**
〒100-0061
東京都千代田区神田駿河台一八
電話〇三三三三三九二一〇五二
FAX〇三三三三三九二一三七六